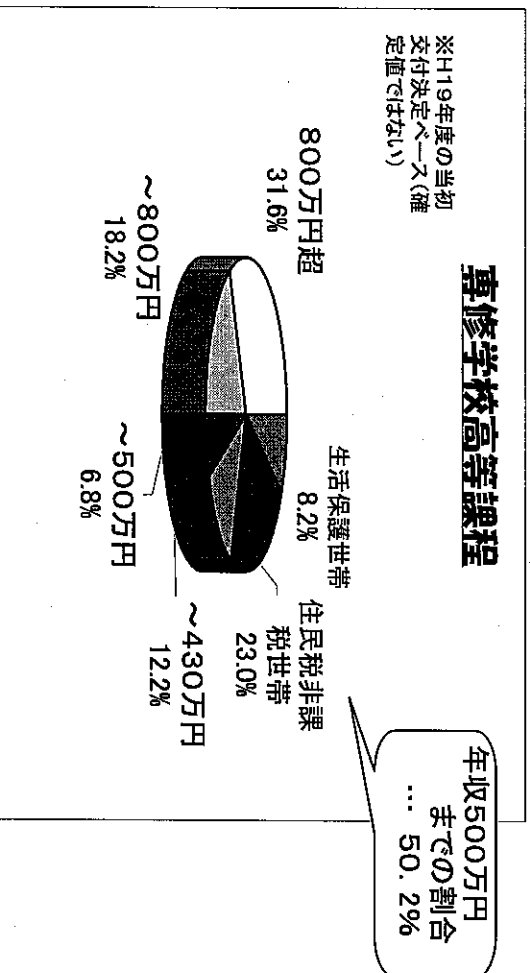
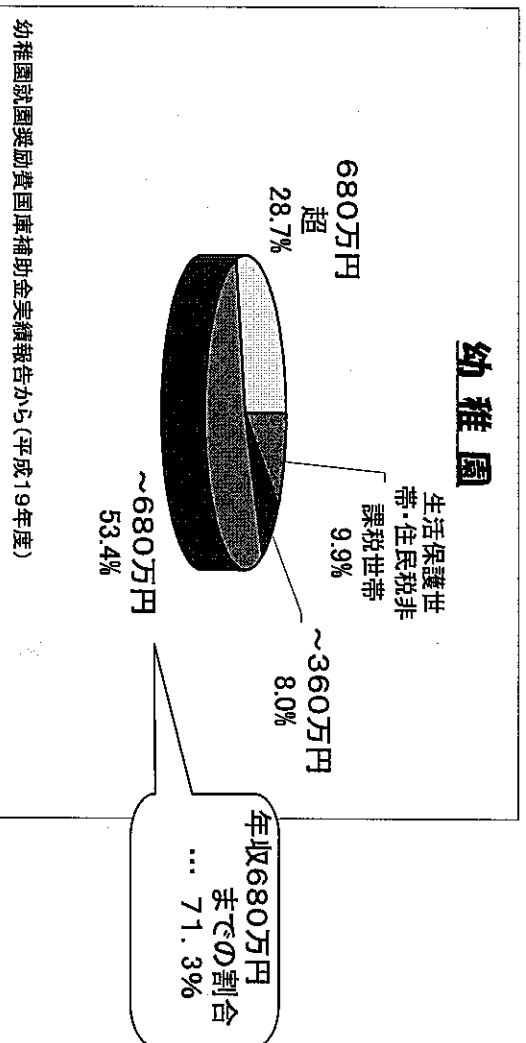
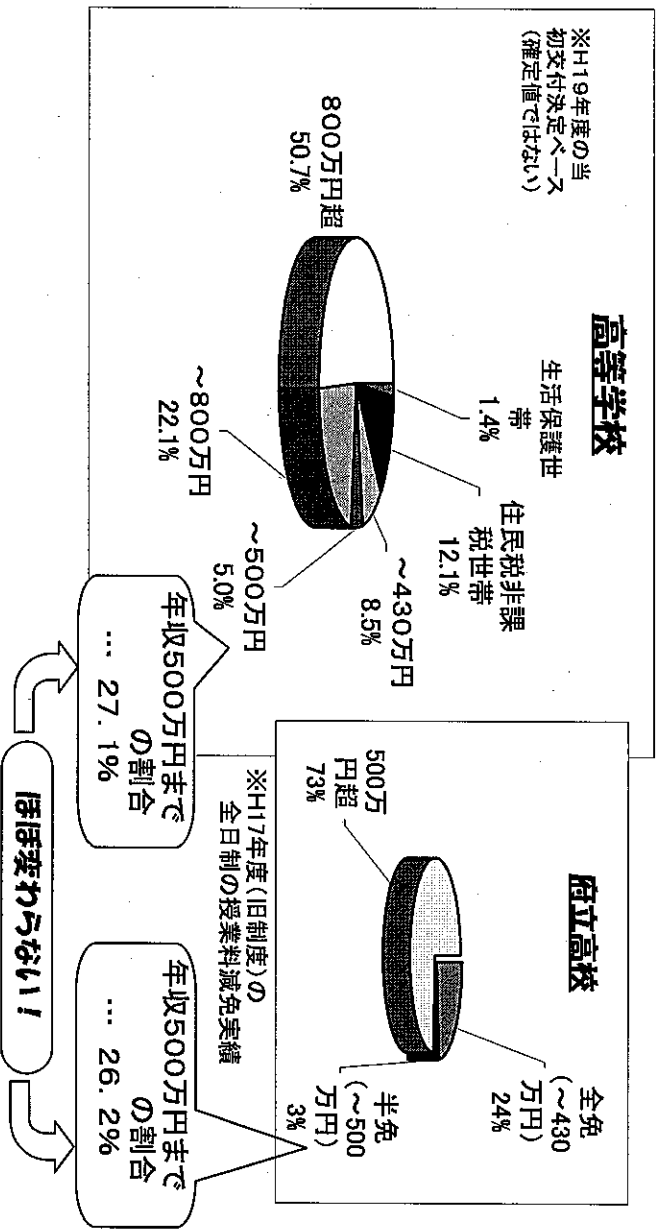


私学助成関係追加資料

1 私立学校在学者の世帯収入の状況



※住民税非課税世帯は、住民税所得割非課税世帯

2-1 勉学、スポーツで大阪の教育を支える私立高校

公私立学校(全日制)卒業生(H19.3)の進路〔⑨「大阪の学校統計」から〕

公立	38%	短大	10%	就職	17%	専修専門	18%
私立	63%		8%		5%		8%

※上記以外の進路(専修学校一般課程、各種学校、一時的な仕事など)

H19 全国高校総合体育大会(夏季大会)
大阪府選手 807名
うち、私立高校生 715名(88.6%)

2-2 公私立高校の経費の比較

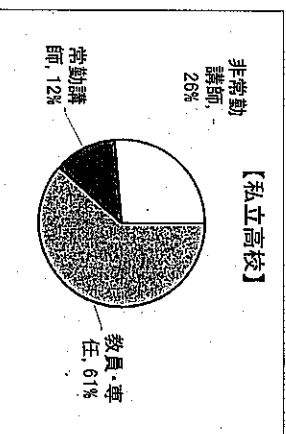
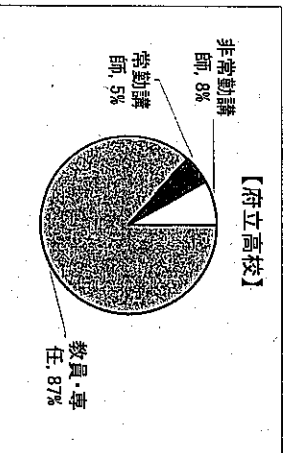
	公費		保護者等		経費計		人件費		教育経費等	
	国庫補助金	一般財源(交付税)(府単費)								
府立	845	2	843	(709)	115	960	857	103		
私立	385	54	331	(240)	(91)	579	964	766	198	

単位:千円

H18年度全日制課程に係る一人あたりの経費(府立:最終予算ベース、私立:決算ベース)

○ 私立高校は府立高校より、公費負担で生徒一人あたり460千円、府単費でも43千円、経費が低く抑えられている。

2-3 公私立高校の教員構成の比較



H19.5.1現在
非常勤講師については、
16時間で1人換算

○ 私立高校においては、府立高校と比べ、専任教員の比率を低く、常勤・非常勤講師の比率を高くすることで、人件費を抑制している。(生徒一人あたり人件費 府立:857千円、私立:766千円)

3-1 私立幼稚園の現状

(1) 設置者別幼稚園数(平成20年度)

学校法人	1園のみ設置	299園
	2園以上設置	110園
幼稚園数計		409園
法人数		346法人
35大学、高校併設法人		39法人
非学校法人	宗教法人	14園
	個人立	9園
	幼稚園数計	23園
合計		432園

(2) 園児数別幼稚園数(H19.5.1現在)

規模(園児数)	園数
0	50人
51	100人
101	200人
201	300人
301	400人
401	500人
501	以上
合計	433園

3-2 幼稚園、保育所の園児数の推移

区分	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
幼稚園	105,792	104,517	104,797	103,829	105,232	105,304	105,395	104,086	102,823	101,190
私立	34,294	34,294	34,294	34,294	34,294	34,294	34,294	34,294	34,294	34,294
公立	140,086	139,421	140,648	139,704	141,744	141,910	141,837	139,208	136,662	133,154
保育所	64,507	66,310	69,375	72,029	76,294	78,710	80,590	82,135	81,565	82,046
合計	204,593	205,731	210,023	211,733	218,038	220,620	222,427	221,343	218,227	215,200
3~5歳児人口	252,436	252,782	255,715	265,854	269,835	259,843	259,026	254,415	250,303	244,389

○幼稚園に通う子どものうち、
約76%が私立幼稚園
○特に、3歳児に至っては、約
95%を占める

○ 幼稚園の園児数は、10年から16年まで横ばい。17年以降は減少傾向。10年間の推移を見ると、3歳児では就園率の伸びにより、3千人程度増加しているものの、4,5歳児では、合わせて1万人の減。
○ 一方、保育所は、3~5歳児の全ての年齢で、園児数の増加が見られる。

3-3 標準的な規模のとある幼稚園の収支状況と経常費カットによる影響

消費収支計算書

(単位：万円)

収	入	支	出
納付金	5,800	人件費	8,000
補助金	4,500	教材等教育費	3,000
事業収入	3,800	給食、バス燃料、課外保育等	2,700
その他	400	管理経費	1,000
計	14,500	その他	100
		計	14,800

※園児数規模府平均(230人)程度

(収入分析)

・保育料が全体の40%、補助金が31%、用品代等の支出見合いの収入が26%で全体の97%を占め、保護者負担を伴わない収入確保策はない。

(支出分析)

・人件費が全体の54%、給食費等収入見合いの支出が18%で全体の72%を占める。光熱水費や直接保育に必要な経費、固定経費などが多く経費節減努力も限定的。
(平均年収：専任教員300万円(29歳)、園長600万円)

□元々、幼稚園は個人や宗教法人などが、近くの子どもを集めて細々と教育を提供してきたもの。現在では、多くの園が、個人等の財産を寄附し、学校法人として経営している。
□小規模で零細な学校法人が経営する幼稚園が多い。

経常費助成10%カット影響額450万円への対応案

【論点1：地道な経費節減】

- 現状
- 教員給与の厳しい抑制、産品の活用、節水ごまの取り付けによる経費節減など血のじむ努力
- さらなる節減
- 冷暖房の休止、テーブルの取りやめ、各種行事の中止など給食材料を安価なものにして経費節減した場合
1食あたり10円節約⇒年間40万円節減
- ※ 支出面での経費節減には限界あり

【論点2：人件費による節減】

- 1割カットした場合
- 園長 年額60万円減
- 教員 年額30万円減(29歳平均給与19.5→17.5万円)
⇒公立の教員(29歳)との給与格差は約1.2万円/月
- ※ 養成校の就職希望先でも保育所に流れてしまっている中、毎年1,000人以上の新規採用者の確保が困難になる。

【論点3：保育料への転嫁】

- 保育料に転嫁した場合
- ・ 年額1万9千円(年18万円⇒約20万円10.5%⁷⁷)
- ・ 就園奨励費補助の対象者(年収680万円以下世帯)は、実質負担大(実質負担約11万円⇒約13万円18.5%⁷⁷)
- 3歳児保育料軽減補助(2.3万円)の員直し(所得制限)⇒4万2千円の負担増(1.9万円+2.3万円)

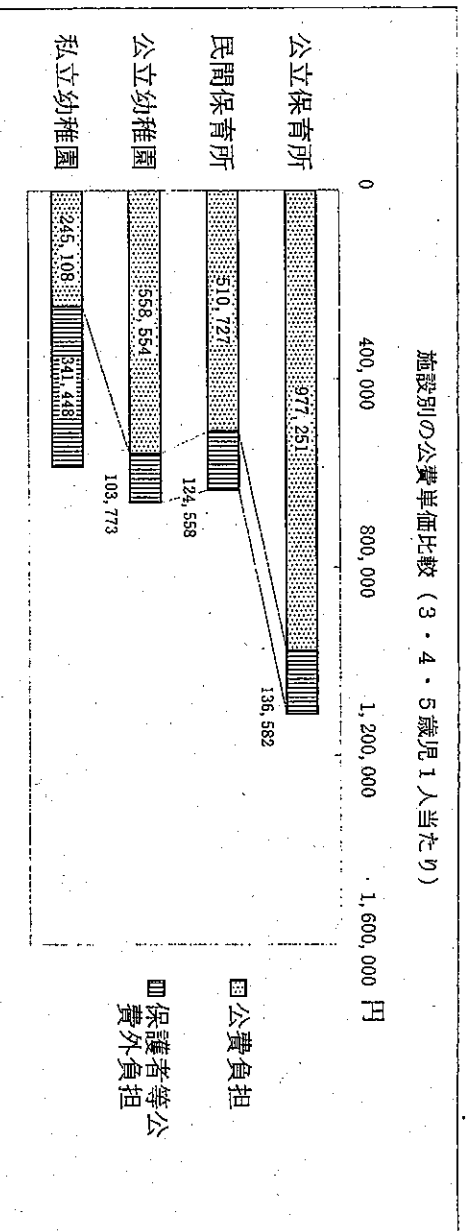
【論点4：公費負担への影響】

- 幼稚園から保育所へのシフト
- 市町村を含むオール大阪での公費負担は増加(26万円/人)
(公費負担：民間保育所約50万円、私立幼稚園約24万円)

3-4 公私別幼稚園・保育所の公費負担比較

施設別の公費単価比較(3・4・5歳児1人あたり)

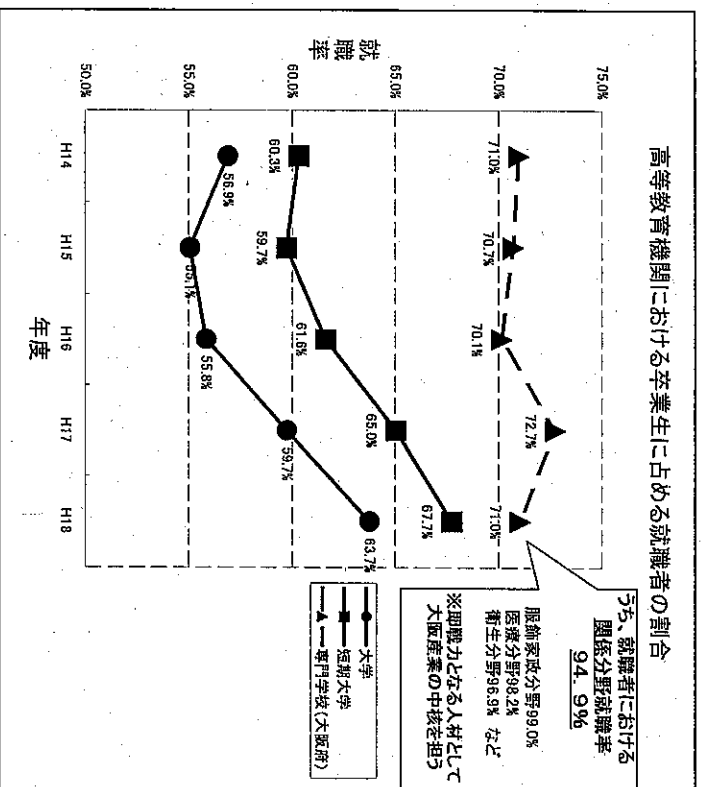
	公費負担	保護者等公費外負担	総費用
公立保育所	977,251	136,582	1,113,833
民間保育所	510,727	124,558	635,285
公立幼稚園	558,554	103,773	662,327
私立幼稚園	245,108	341,448	586,556



(注) 大阪府私立幼稚園連盟調べによる
・ 回答のあった25市町村の集計結果

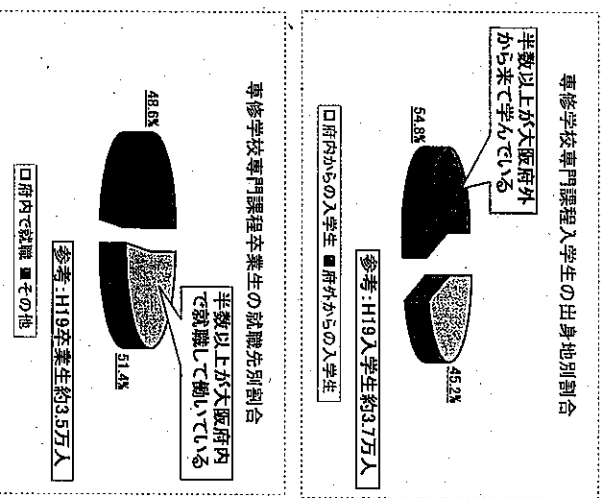
※幼稚園、保育所ともに平成17年度決算の調査に基づいています

4-1 専修学校専門課程の状況



(注1) 大学及び短大については、文部科学省の「平成18年度学校基本調査(確定値)」より抜粋
(注2) 専修学校専門課程については、大阪府統計課の「大阪府の学校統計(平成19年度推測)」より抜粋

□ 大阪府で学ぶ、働く若者の増加に寄与



4-2 専修学校高等課程(経常費補助金交付校)の現状

専修学校高等課程においては、高校生年齢の生徒に専門技術教育を施すとともに、中学校で不登校だった生徒など様々な課題を抱える生徒についても、職業教育やカウンセリングを通じて生徒の自己実現や自立を図り、成果をあげている。

【標準的なとある学校の状況】

- 消費収支状況
 - ・ 納付金が収入全体の62%、補助金が32%を占める。
 - ・ 人件費が支出全体の76%、教育研究経費13%、管理経費11%を占める。
 - ・ 生徒一人当たりの人件費は65.4万円で、府立高校(85.7万円)に比べて大きく劣り、人件費の更なる抑制は困難。
 - ・ 兼任教員の比率を高めるなどして人件費の抑制等を図っているが、経費節減努力も限界。
 - ・ 一方で、在学者の世帯収入は年収500万円以下の世帯が半数を越えており、授業料値上げもできない状況。

□ 消費収支計算書 (単位:万円)

収 入		支 出	
納付金	18,700	人件費	22,900
補助金	9,600	教育研究経費	3,900
事業収入	1,600	管理経費	3,200
その他	400	その他	300
合計	30,300	合計	30,300

学校の状況

生徒数: 350人
教員数: 39人
専任教員 22人
兼任教員 17人
授業料 40万円
奨励費 10万円

【教育の現状】

- 就学環境の厳しい生徒も含め、多様な生徒を受け入れ、きめ細やかな教育を実施(家庭訪問やカウンセリングの配置、別室登校などの配慮)。
- 進路先は、進学 43.0%(大学 13.3%、短大 0.9%、専門学校 28.7%、その他進学 2.1%)、職業訓練 3.1%、就職 43.8%、その他 10.1%。

